

受験番号 _____

2024 年度 一橋大学大学院 言語社会研究科 博士前期課程（修士課程）
入学試験問題

第 2 部門

（日本語教育学位取得プログラム）

論 文 問 題

- ・試験開始の合図があるまでこの冊子を開いてはいけない。以下の注意事項をよく読むこと。
- ・すべて日本語で解答すること。
- ・一般・外国人留学生・日本語教育経験者ともに、A 問題、B 問題、C 問題の三つの問題から、二つの問題を選んで解答しなさい。なお、A 問題、B 問題、C 問題につき、それぞれ別の用紙を用いて解答すること。
- ・解答用紙には、以下のように選択した問題番号を解答の最初に記入すること。
例：A 問題—問 1 B 問題—①、③⑥⑨ C 問題—問 2
※上記は例示であり、一般・外国人留学生・日本語教育経験者ともに、選択するのは 2 題である。
- ・解答に際して用紙 1 枚では不足の場合、試験監督員に申し出て追加配布を受けること。
- ・本冊子は持ち帰ってはいけない。上部の受験番号欄に必ず受験番号を記入すること。

第2部門（日本語教育学位取得プログラム）

論文A問題（日本語教育）

以下の2題（問1、問2）のうちから1題を選んで答えなさい。解答の最初に選択した番号（問1または問2）を明記すること。

問1

次の1) 2) のいずれかの文法項目を選び、それぞれの項目の適切な産出につながる授業設計を行う上で留意すべき点について、考えられるものを全て書きなさい。なお、対象者は初級後半レベルの留学生で、2) の場合、テイル形の進行中の意味・用法（「雨が降っている。」のタイプのテイル形）は導入済みであるものとする。解答に際しては、1) 2) のいずれの形式を選択したのかを解答用紙に書きなさい。なお、1) 2) 両方に解答した場合は0点とするので、注意すること。

- 1) ～と思う、2) 結果残存のテイル形（「氷が溶けている。」のタイプのテイル形）

問2

近年、日本語学習者の多様化はますます広がりを見せている。きめ細やかな指導・支援を行うためにも、学習者の個人差を考慮した学習や指導の必要性が指摘されている。授業内の教室活動において、教師はどのように学習者の個人差に考慮した学習指導や支援ができるか。言語面・認知面・情意面の三つの側面から論じなさい。

第2部門（日本語教育学位取得プログラム）

論文B問題（日本語学）

【必須問題】①、および【選択問題】②～⑩の用語から三つ、計四つを選び、具体例をあげて説明しなさい。

できるだけ日本語の例をあげること。解答の最初に選択した番号を明記すること。五つ以上解答した場合は、0点になるので注意すること。

必須 問題	①	著名な日本語のコーパスを三つ挙げ、それぞれの特徴を説明しなさい。
選択 問題	②	談話標識 (discourse marker)
	③	対義語
	④	日本語のアクセント
	⑤	グライスの会話の公準
	⑥	フォリナートーク
	⑦	中間言語 (interlanguage)
	⑧	メトニミー (換喩)
	⑨	複合辞 (複合助詞)
	⑩	役割語

第2部門（日本語教育学位取得プログラム）

論文C問題（日本文化論）

以下の2題（問1、問2）のうちから1題を選んで答えなさい。
解答の最初に選択した番号（問1または問2）を明記すること。

問1 日本の小説文化について、具体的な事例を挙げ、考察しなさい。

問2 日本語においてジェンダー（社会的性差）が問題となる具体的な事例を挙げ、どのような論点があるかを論じた上で、自分の意見を述べなさい。